

1 教育目標（目指す生徒像含む）

- (1) 基本目標
『豊かな心をもち 未来を切り拓く力を身に付けた生徒の育成』
～社会で「自立と貢献」ができる人づくりを目指して～
- (2) 具体目標
豊かな心をもち 思いやりのある生徒（徳） 主体的に考え 粘り強く学ぶ生徒（知）
気力にあふれ たくましい生徒（体） 精神的に自立し 他と協働できる生徒（社会性）
- (3) 生徒指標
「強く 聡く 美しく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- ・「知・徳・体」の育成をバランスよく展開することにより、豊かな心を基盤にしながら、確かな学力や自ら学び考え行動する力、健康な心身などの「生きる力」を育成する。併せて、今後ますます必要とされる社会性の育成についても推進する。
- ・正しい生徒理解や明確な方針に基づいた教育活動を展開することにより、人間尊重の精神を基盤として、生徒の多様な資質や個性を伸ばし、自他を尊重し健全な社会生活を営むことのできる人間の育成を図る。
- ・教職員としての使命を自覚し、自ら研鑽に努め、業務の適正化を図りながら協働した教育実践をしていくことで、保護者や地域との連携を深め、一層信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 学業指導の充実による、生徒一人一人の将来の自己実現に向けた基盤づくりの推進
- (2) 「確かな学力」を確実に身に付けるための学習指導の推進
- (3) ○豊かな人間性、主体的に生きる力を育む教育の推進
- (4) ○認め、褒めて伸ばす指導による自己肯定感・自己有用感を高める教育の推進
- (5) ○言語環境の整備と人権尊重の教育の推進
- (6) 特別な支援を必要とする生徒のための指導・支援体制の整備及び個に応じた指導・支援の推進
- (7) 専門性や指導力の向上を目指し、相互に学び合い、業務の効率化を図りながら、教育課題に協働して取り組む教職員集団の構築
- (8) ○小学校、家庭、地域との連携による信頼される学校づくり
- (9) 質の高い教育の提供と生徒と向き合う時間の確保に向けた、全教職員による働き方改革の推進

【横川地域学校園教育ビジョン】

豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育
～自分・人・地域を大切にすることの育成を目指して～

4 教育課程編成の方針

- 次の5つの視点を踏まえ、地域とともにある学校づくりを推進していくための教育課程を編成する。
- (1) 「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえたカリキュラム・マネジメントの充実
 - (2) 教科・領域における地域教育資源の活用や連携による「主体的・対話的で深い学び」の充実
 - (3) 地域学校園内の小学校との連携・協力による、小中一貫教育の一層の充実
 - (4) 保護者や地域住民等への情報発信及び家庭や地域との連携・協働の推進
 - (5) 行事や業務の見直しと精選による働き方改革の推進

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- 生徒一人一人のよさや強みを認め、「褒めて伸ばす」指導の充実

【学 習 指 導】

- 「分かる授業」の展開及び家庭学習の確立による基礎・基本の定着と、「主体的・対話的で深い学びの充実」による思考力、判断力、表現力、学びに向かう力の育成

【児 童 生 徒 指 導】

- 「心のたくましさ」を育てる積極的な生徒指導
- 児童生徒の健全育成を目指して—いじめゼロ・あいさつ・時間・言葉づかみ—(共通スローガン)
～「挑戦する」「我慢する」「あきらめない」「自信を持つ」生徒を育てるための指導の充実～

【健康（体力・保健・食・安全）】

- 自他の命を大切にし、安全・健康・体力の向上に取り組む生徒の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生 徒 の 姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・基礎・基本の定着のため、授業でＴＴや習熟度別学習を行うなど、生徒一人一人に個別に対応できる学習指導の体制を整える。 ・放課後学習相談も継続して実施する。 ・「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味関心を高める教材を工夫する。 ・言語活動の充実を図る活動を取り入れる。 ・思考力・判断力・表現力を高める学習活動の改善を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 87.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務にあたる。 ・教科間、学年間で教材や資料の共有をより多くの職員で行い、各業務の効率化を図る。 ・「見せ合い授業」等を通して、生徒の興味関心を高める教材を工夫し、思考力・判断力・表現力を高める学習活動の充実を図る。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・ものを大切にしたり、エコを心がけたりすることは思いやりの延長であるので、道徳の授業や学級活動において、様々な場面で思いやりを意識した授業展開を計画実施する。 ・SDGsを宇都宮学内で学ぶ際、思いやりの対象が多様にあることを知らせるため、内容の計画・実施をする。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・道徳の授業や学級活動において、様々な場面で思いやりを意識した授業展開を計画実施する。 ・思いやりの心を自然環境やものに対しても持てるよう SDGs と関連させた内容や委員会活動においても計画をする。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・生徒手帳に記載されている「学校生活のきまり」を意識して生活させる。特に、朝の登校や授業前など余裕を持って時間を守る意識の徹底を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 85.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・「ルール」の意味を理解させ、チャイム前着席など、時間に余裕をもって行動することを指導していく。 ・生徒会専門委員会を活性化させ、生徒が主体的に「学校の決まり」を守って生活するような意識づくりを行う。

A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・あいさつだけでなく、学校生活のあらゆる場面で、適切な言葉遣いや、声の大きさ、等の判断ができるように指導助言していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・時と場に応じ、誠意のある品の良いあいさつや会話ができるよう指導していく。
A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・自分の個性を理解し、将来の目標を段階的に計画させる。その達成に向けて粘り強く努力するようにきめ細やかな指導を丁寧に行っていく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 81.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・将来の目標を段階的に計画し、その目標を達成するための手段を考えながら粘り強く努力するよう、きめ細やかな指導を行っていく。
A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・保健体育の授業を中心に、学校教育活動全体で、生徒が主体的に取り組めるよう、保健主事や養護教諭と連携を図りながら指導していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 93.0% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・生徒会保健体育委員会の活動を充実させ、生涯にわたった健康的な生活が身につくようきめこまかな指導をしていく。
A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・発達段階に応じたキャリア教育を実践することにより、生徒の良さを認めながら他者と協働して社会に参画するように指導助言していく。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 81.7% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・学級活動等を通して発達段階に応じたキャリア教育を充実させ、他者と協働して社会に参画するように指導助言していく。
A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・小学校との連携を深め、外国語の授業を中心に言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を高める指導を行っていく。 ・TTの時間やALTとの授業の時間に、効果的な活動を取り入れる。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答 81.2% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・コミュニケーション活動の機会を増やせるよう、導入やALTの活用時に対話活動を増やし、場面設定の工夫などを行う。

A9 生徒は、宇都宮の良さを 知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・総合的な学習の時間の宇都宮学の授業や地域のボランティア活動を通して、宇都宮の良さを感じられる体験ができるような指導を工夫していく。 ・宇都宮学を活用し、宇都宮の良さを感じられるように指導を続けるとともに、学習の様子を保護者へ情報発信していく。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 79.4% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成しなかった。 【次年度の方針】 ・総合的な学習の時間の宇都宮学の授業や地域のボランティア活動を通して、宇都宮の良さを感じられる体験ができるような指導を工夫していく。 ・できるだけ身近な題材を扱う工夫をすることで、何気なく知っていたことや生活していたことが実はすごいことだと気づけるような体験を加える。
A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・教科ごとに計画的に図書室を利用した授業を行う。 ・各教科の学習や総合的な学習の時間に、ICT機器及び図書を効果的に利用した活動をする。また、教員同士で実践例を積み上げ、情報共有を図ることで、ICT機器の積極的な利用を促進する。 ・GIGA スクール構想による生徒のタブレット活用を促進する指導を行っていく。 ・AIドリルの活用を促進する。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 79.2% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成しなかった。 【次年度の方針】 ・タブレットの使い方の講習を行うなど、教員のICTに関する知識を増やす。 ・教科ごとに計画的に図書室を利用した授業を行う。 ・各教科の学習や総合的な学習の時間に、ICT機器及び図書を効果的に利用した活動をする。 ・GIGA スクール構想による生徒のタブレット活用を促進する指導を行っていく。 ・AIドリルの活用を促進する。
A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・新型コロナ感染状況に応じて、1年時の高齢者施設訪問や地域学校園内のボランティア活動等を通じて、心の育成に努める。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 89.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・新型コロナ感染状況に応じて高齢者施設訪問を行ったり、地域の方とコスモスを育てたり、河川の清掃活動である愛リバー活動を行ったりし、交流をしていく。

	A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・各教科領域等で「持続可能な社会」について考える機会を設けるように努める。 ・各種委員会で、SDGsに関連した目標をたて、生徒の意識を高める。 ・生徒だけでなく、教員側の知識と関心を高める。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 71.5% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成しなかった。 【次年度の方針】 ・各教科、領域で「持続可能な社会」について教えたり、各種委員会で、SDGsに関連した目標をたて、生徒の意識を高めたりできるようにする。
目 指 す 学 校 の 姿	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・生徒指導部会・支援部会をそれぞれ週1回開催し、情報交換を行い、SCのアドバイスを受けるなどして、必要に応じて個別対応の話し合いを行う。部会で出た内容については、学年ごとに共通理解を図る。 ・病院や相談機関など、校外の機関との情報交換を積極的に行うことで、幅広いニーズに対応した支援を行う。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 92.3% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・教職員の特別支援教育研修の充実を図り、多様なニーズに対応できるようにする。 ・病院や相談機関など、校外の機関との情報交換を積極的に行うことで、幅広いニーズに対応した支援を行う。
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・いじめの未然防止、早期発見および早期対応のために、月1回程度のアンケートを実施する。 ・教職員の人権感覚を磨き、学校生活のすべての場面において、いじめが許されない行為であることを生徒に指導していく。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 94.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・日常的に生徒の言動に注意し、生徒の出すサインや違和感を見逃さないように意識する。
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・スタンダードダイアリーを有効に活用し、生徒の悩みや不安に速やかに対応できるようにする。 ・不登校の生徒には、タブレットを用いて、リモートの学習や連絡のやり取りを行うなど、少しずつ登校意欲を高めていく活動をする。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 94.1% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・スタンダードダイアリーだけでなく、教育相談や生活のアンケートの情報を大切にし、生徒理解に努める。 ・別室登校の生徒と担任のやり取りを充実させ、共に教室復帰を目指す。
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・生徒だけでなく保護者に対しても、支援を充実させられるよう、必要に応じて外部機関に助言等を求める。 ・日本語が話せない生徒がいる場合は、日本語指導のための部屋の準備や日本語指導員の要請を行う。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 92.3% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・対象生徒の状況をよく確認し、必要に応じて面接や個別指導をするなどして受け入れ体制を整える。

A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・これまでの取り組みを継続し、学校行事で生徒会や学級委員長が中心となり、生徒が主体的に活動できる環境を整え、リーダーの育成に力を入れる。 ・生徒の活動を HP や各種便りを活用して保護者へ情報発信していく。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 83.9% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・担当委員会が提案するだけでなく、横のつながりを大切にし、委員会の枠を超えて横断的に活動をしていくようにする。 ・生徒会だよりなどを発行し、校内だけでなく校外へ積極的に情報を発信できるように工夫をする。
A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・言語活動の充実を目指し、「見せ合い授業」や授業研究会を通して、各教科で課題を明確にし、分かりやすく、楽しい授業の展開に努める。 ・各授業で T T や習熟度別学習、放課後学習相談を行うなど、生徒一人一人に個別対応のできる学習指導の体制を整えていく。また、I C T 機器を活用した授業実践例を、教科横断的に積み上げていく。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.3% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・教科部会で上がった教科ごとの課題を明確にして、教員同士が「見せ合い授業」等を通して、授業研究に努める。 ・I C T 機器を利用した授業実践を積み重ねていくことで、教員の I C T 機器に関する授業力向上を図る。
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・学校経営方針や重点目標を、全教職員が意識し、個々の力を適切に発揮しながら業務に取り組み、生徒や学校業務に関する情報を共有し、問題点の把握や改善に努める。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 82.1% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・学校経営方針や重点目標を全職員が意識し、個々の力を適切に発揮しながら業務に取り組めるよう、生徒や学校業務に関する内容の共通理解を図っていく。
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務にあたる。 ・教科間、学年間で教材や資料の共有をより多くの職員で行い、各業務の効率化を図る。 ・コロナ禍により見えてきた行事の有用性、部活動の在り方の見直し、といったことを考え、放課後の時間を生み出す工夫を積極的に行っていく。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 74.4% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成しなかった。 【次年度の方針】 ・業務内容を精選し、勤務時間を意識しながら業務にあたる。 ・教科間、学年間で教材や資料の共有をより多くの職員で行い、各業務の効率化を図る。 ・行事の有用性や内容の精選を考え、放課後の時間を生み出す工夫を積極的に行っていく。

A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図っていく。 ・要請訪問や校内授業研究会への参加を通して、小・中間の授業の様子に関する情報交換及び授業力向上を目指すしていく。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 84.6% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・「小中交流あいさつ運動」、「乗り入れ授業」などを通して、教師や児童・生徒同士の連携を図っていく。 ・要請訪問や校内授業研究会への参加を通して、小・中間の授業に関する情報交換及び授業力向上を目指す。
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 保護者地域平均の肯定的回答 80%以上	・魅力ある学校づくり地域協議会と連携し、活動の充実を図る。 ・保護者に、活動の協力や活動後の報告を行い、普及に努める。 ・学校周辺にある歴史的遺産（古墳など）の探索や外部の専門家等を招いての講演会などをひらいて生徒の興味関心を図る。 ・地域の河川清掃活動など、地域の環境美化ボランティア活動に参加し郷土愛の向上を図る。	【達成状況】 保護者地域平均の肯定的回答 89.2% ・評価対象である保護者地域平均の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・魅力ある学校づくり地域協議会とPTAと生徒会が連携することで、活動の充実を図れるようにする。 ・地域のボランティア活動との協力を継続し、郷土への愛着が強まるようにする。
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 80%以上	・学級懇談、オープンスクールや三者懇談を通して、家庭と生徒理解を深め、生徒のよさを認め、伸ばせるよう協力し合える関係を築く。 ・ボランティア活動を通して、地域と交流を図る。	【達成状況】 保護者の肯定的回答 90.8% ・評価対象である保護者の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・感染症対策を講じながらできる範囲でのオープンスクールを実施することができたので新型コロナ感染の状況に応じて、工夫しながら取り組んでいく。
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・学校安全点検をしっかりと行い、修繕すべきところは素早く対応していく。 ・防災訓練等を定期的に行い、安全に関する知識を身に付けさせる。	【達成状況】 教職員の肯定的回答 94.9% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・学校安全点検をしっかりと行い、修繕すべきところは素早く対応していく。 ・防災訓練等を定期的に行い、安全に関する知識を身に付けさせる。 ・各担当とよくコミュニケーションを取りながら行っていく。

	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上	・タブレットが生徒一人一人に導入されることを受け、各教科主任を中心として、それらを有効活用した授業実践を行えるようにする。 ・各教科で必要な図書の充実を図り、授業に有効活用する。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答 100% ・評価対象である教職員の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・タブレットの故障が多く、生徒や教員に十分にいきわたっていないので、生徒にタブレットの正しい扱い方を指導していく。 ・タブレットが生徒一人一人に導入されていることを受け、各教科主任を中心として、それらを有効活用した授業実践を行えるようにする。 ・各教科で必要な図書の充実を図り、授業に有効活用する。
本校の特色・課題等	B 1 生徒は、自分のよいところを理解している。 【数値目標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・学校生活の中で、互いの長所を見つけ、認め合う活動や内容を意図的に取り入れ、自他の良いところに目を向けたコミュニケーション能力が身につくよう指導していく。 ・学校生活における生徒の頑張りを積極的に称賛し、タイミングよく褒める。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 82.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・生徒の自己肯定感が高まる声かけや励まし、称賛をさらに意識して生徒と接していく。 ・達成感のある行事や授業を実施する。 ・学校生活アンケートでの善行記入を有効に活用する。
	B 2 生徒は、主体的かつ継続的に家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・自主学習ノートの内容が学年に応じているかの確認を行う。全学年共通して、自主学習の手引きを利用して、自主学習の状況を適宜確認する。 ・参考になる自主学習ノートの紹介を行うなど、個に合った自主学習ノートの内容について指導する。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答 83.3% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・自主学習の手引きを利用して、学習内容について、「めあて」「振り返り」を記入することで、次時の学習へ見通しを持たせる。 ・参考になる自主学習ノートの紹介を行うことで、生徒の学習意欲の喚起に努める。

B3 生徒は、読書の時間に進んで読書を行い、図書室を利用して読書に親しんでいる。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・朝の読書を毎日実施し、読書の習慣づけを図る。 ・読書週間を設け、全校朗読放送や図書のクラス貸出、お話給食の実施などを行い、読書の啓発を推進する。 ・図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。 ・1年時に図書室の利用のガイダンスを行う時間を利用し、じっくり図書を選ぶ時間をとったり、貸し出しの機会を増やしたりするなど、一人一人が図書に係わるような指導を増やす。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 60.8% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成しなかった。 【次年度の方針】 ・朝の読書を5分から10分にするこ とによって、読書に親しむ時間を確保する。 ・図書だよりを通じて、家庭での読書のすすめを呼びかける。 ・1年時に図書室の利用のガイダンスを行う時間を利用し、一人一人が図書に係わるような指導を増やす。
B4 教職員は、生徒の長所や得意なことなどを認め、ほめている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・授業や行事だけでなく、係活動や当番活動等で気が付いたことは積極的にその活動を評価する。行事においては、中心生徒だけでなく、集団の努力も認める。 ・学校行事や学年行事、学級活動等活動ごとに個人目標を設定させて、自己肯定感を高める工夫を行う。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 90.1% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・個人目標の設定をさせ、進捗状況や努力している過程にも目を向け、認め、ほめることによって、自己肯定感の更なる向上を目指していく。
B5 教職員は、定期的に交通指導や登校指導を行い、交通事故防止に努めている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	・交通ルールやマナーの遵守および安全な登下校のため、全教職員が、登校指導や下校指導、日々の交通指導に力を入れていく。 ・学級での指導を基本とし、家庭や地域の協力も得て、安全な自転車の乗り方やマナー意識の高揚に努める。	【達成状況】 生徒の肯定的回答 92.3% ・評価対象である生徒の肯定的回答は数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・交通安全に気を付けることは自分の命を守ることでもあるので、学級での指導を基本とし、家庭や地域の協力も得て、安全な自転車の乗り方やマナー意識の高揚に努める。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所にて下線を付ける。

- ・30の質問項目で24項目が指標を上回った。
 - ・質問項目を生活面、学習面、健康安全面と大きく分類し数値を検討してみると、生活面に関することは、ほとんどの項目で生徒の肯定的回答が指標を上回っている。このことから、学校の決まりやマナーを守り落ち着いた生活を行い、充実した学校生活を送っていると考えられる。
 - ・学習面に関することでは、ほとんどの項目で生徒、教職員の肯定的回答が指標を上回っている。学力向上に向けて、わかる授業を行うためにICTを効果的に活用していく。学力の定着には家庭学習の習慣付けが不可欠であり、家庭への協力の呼びかけ等行う必要がある。
 - ・健康安全面に関することでは、生徒の肯定的回答は指標を上回っているが、教職員、保護者、地域住民では指標を下回っている。これは、登下校中の自転車を運転する生徒と自動車等を運転する側の安全に対する意識の差が出ていると思われる。交通法規の遵守を改めて生徒に理解できるよう指導し、交通マナーの遵守や心のマナーの向上に努めていく。
 - ・新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、学校行事や保護者会を縮小しながら行った。保護者や地域への発信として本校HPの内容の充実や、各担任や学年主任等による各種たよりの充実を図った。今後も情報発信の方法や回数などを検討していく。
- 小中一貫教育・地域学校園に関する項目については、小学校への乗り入れ授業や各部会を開くなど、小中の教職員が連携した活動はしたものの、形に見えないことで保護者、地域住民の数値は目標指標に届かなかった。学校園での共通の課題である学力の向上に向けて、生徒の実態に合わせて効果的な取り組みを行い地域や保護者に活動内容が理解されるようHPやたよりなどを活用し理解されるよう検討していく。

7 学校関係者評価

- ・先生と、生徒との雰囲気がとても良い。これからも、ますます良い学校になるよう、地域としても支えたいと思う。
- ・自転車の乗り方については、地道に、根気よく、事故が発生した時にどのような影響が発生するのか、自分だけでなく、家族、先生方、たくさんの人が悲しむことを伝えて指導していただければと思います。
- ・運動部の顧問の先生は経験のある方にしてほしいという意見を多々聞きます。学校のみならず地域で協力してくれる経験者の方を募集するとか連携が取れれば良いなと思います
- ・マスク生活の弊害が精神面に及ぼす影響が心配です。外しても大丈夫な場面では積極的に外すように指導して欲しいと思います。
- ・自転車通学での苦情があるのであれば、このアンケートで生徒たちに直接問うてみてはいかがでしょうか？安全運転の啓発になるのではないのでしょうか？

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

- ・本校の重点目標である、学力向上、家庭学習の習慣化に関しては、成果が現れている。生徒の学習意欲も高まり、生徒会の呼びかけによる授業2分前着席など生徒の学習に向かう意識や環境が整いつつある。授業中にタブレットを効果的に使い、視覚的に理解できる教材作成や、新型コロナ感染対策を講じながら小グループでの話し合い活動を行うことで深い学びにつながってきている。
 - ・昨年度から完全実施になった新学習指導要領の「主体的で対話的な深い学び」の授業が展開できるよう、生徒が授業のねらいを理解し、インプットからアウトプットをすることで学習内容の定着と多面的な考察ができるような学習環境を確立していく。そのために教職員の研修・研鑽を行い、主体的に学習に取り組む態度の育成を図ることが必要である。
 - ・自己肯定感や自己有用感を高めるために、生徒と教職員のよりよい人間関係を醸成するとともに、教育相談活動を充実させ、安全で安心な学校づくりを目指す。また、不登校の解決や改善に向けて、生徒自身の問題解決能力の向上や教員のカウンセリング技能の向上を図れるよう研修等を行っていく。
 - ・交通事故ゼロに向けて、交通安全教室や危険箇所マップ作成などを行い、自転車運転者としての交通法規の遵守と心のマナーの向上を図る。
 - ・生徒のボランティア活動については、地域コーディネーターを十分に活用し、新型コロナ感染防止対策を行いながら学校と地域の連携と調整を図っていく。
- 「小中一貫教育・地域学校園」に関する項目では、小学校への乗り入れ授業や宮っ子チャレンジでの小学校での職場体験学習活動中での小学6年生への中学校紹介などの時間を作っているものの、生徒には活動状況が見えにくいため低いようである。生徒の学習面や生活面に反映できる一貫教育の取組を小中で連携し、9年間を見据えた指導内容や児童生徒の活動を行うとともに、積極的に情報の発信をしていきたい。